

令和 8 年 9 月 14 日

お 知 ら せ

課 名	農政企画課
担 当	北谷・奥
内 線	3711・3713
直 通	086-226-7413

令和 8 年度(第 66 回)岡山県農林漁業近代化表彰の 受賞団体が決定しました

県では、山陽新聞社との共催により、近代的な経営を行い地域農林漁業発展の先駆けとなっている優秀な団体等を表彰する「岡山県農林漁業近代化表彰」について、本年度の受賞団体を次のとおり決定しましたので、お知らせします。

なお、本表彰は農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催による第 66 回農林水産祭の参加行事であり、これら受賞 5 団体には、併せて農林水産大臣賞が授与されます。

記

1 受賞団体 別紙のとおり

(参考) 表彰状況

部 門	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
農産部門	2	2	2	1	2
園芸部門	2	2	1	3	2
畜産部門	－	－	1	1	－
林産部門	－	－	－	－	－
水産部門	1	1	1	－	1
計	5	5	5	5	5

2 表彰式

日時 令和 8 年 11 月 12 日 (木) 15 : 00～16 : 00

場所 県庁 3 階 大会議室

(岡山市北区内山下 2－4－6)

令和8年度（第66回）岡山県農林漁業近代化表彰受賞団体

部門	団体名・代表者・所在地	設立・構成	功 績 概 要
農産部門	株式会社岡本農産 代表取締役 おかもと 岡本 くにひろ 邦宏 岡山市南区藤田2457-8	H22. 3. 22 1戸	農地集積と大型スマート農業機械の導入を積極的に進め、米麦二毛作体系による大規模経営を実現している。酒造好適米や業務用米を中心に実需者ニーズを捉えた経営を実践しており、「雄町」の有機栽培にも取り組んでいる。スマート農業機械の整備や直播栽培の導入等により省力化や効率化を図り、高い耕地利用率を達成しているほか、営農管理システムを活用してほ場に合わせた栽培管理を実践することで高い生産性を確保しており、県を代表するモデルとなっている。
	農事組合法人AKファーム 代表理事 かげやま 影山 ふとし 太 津山市安井116	H22. 5. 21 16戸	土地利用型作物を中心とした複合経営を実践しており、若手組合員の確保やスマート農業機械の導入等により規模拡大を実現している。水稻では複数品種の導入により作業分散を図っているほか、小麦では地域特産のパン用小麦「せときらら」をいち早く導入し、高い技術力により地域最大の作付面積と安定生産を両立させるなど、津山市を代表する集落営農法人となっている。
園芸部門	J A晴れの国岡山阿新桃部会 部会長 おがわ 小川 みさお 操 新見市西方1406	S42年 50戸	複数の品種を組み合わせ、ももの長期安定出荷体制を確立するとともに、一部を無袋栽培として「赤い桃」を栽培し、市場ニーズに応えている。また、地元企業と協働して規格外品を活用した商品開発に取り組み、知名度向上を図っている。さらに、担い手の確保・育成活動においては、空き園地情報の集約等により園地を継承する仕組みを定着させて、産地規模の維持につなげるとともに、各種イベント等を通じて関係人口を広げ、産地基盤の強化を図っている。
	晴れの国岡山農協 東部出荷組合 組合長 みやけ 三宅 のぶひろ 伸博 倉敷市連島町西之浦512	H元年 22戸	ごぼうの春どり、秋どり作型に加えて冬どり作型を確立・導入するとともに、大型冷蔵庫を整備することにより、周年出荷体制を確立している。また、機械の共同利用体制の整備や、省力化による高品質・安定生産を進めるとともに、県内で初めて国の地理的表示（GI）保護制度の登録団体となるなど、差別化、ブランド化を進めている。さらに、地元企業等と連携した加工品開発など、新たな需要の創出にも取り組んでいる。
水産部門	邑久町漁業協同組合 代表理事組合長 まつもと 松本 まさき 正樹 瀬戸内市邑久町虫明4256	S41. 7. 5 163戸	養殖カキの県下の主要産地であり、漁場の環境を良好に保つため、アマモ場の再生や海底清掃等を継続的に実施するなど、持続的なカキ養殖業に取り組むとともに、カキ垂下式養殖業として水産エコラベル認証を世界で初めて取得するなど、他産地との差別化による認知度向上を推進した。また、新たに高度衛生型荷さばき施設を整備し、養殖カキの衛生管理体制の構築と出荷時期の延長を図るなど、生産性向上と経営基盤強化に努めており、漁協運営の先進事例として評価される。